

実例その3 LGNet（ローカルガバネット）

全国各地の税務職員など70名が結集

「山形県米沢市」



山形県米沢市

「全国市町村の税務職員が、私債権の処分や搜索、インターネット公売といった様々なノウハウを身につけ、意欲的に業務に邁進するには、情報交換と志を共有し合える環境づくりが必要」

道内を始め全国各地の税務職員を中心としたインターネットグループサイト「LGNet（ローカルガバネット）」が09年3月に始動、情報や経験を共有しながら活発に交流している。

7月4日には、ネット上でしか交流の無かった全国のメンバーなど約70名が山形県米沢市の伝国の杜大会議室に集まり、研修会を開催した。

研修で元気に！
仕事力もアップ

冒頭挨拶したのは同会代表の浦幌町町民課納税係の菅原伊奈子係長。「休日に全国から志あるメンバーが集まった。事例を学び、元気になって日々の業務に活かしてほしい」と述べた。

研修は事例発表を中心に展開。まず赤平市建設課の山森拓住宅係長が「私債権の滞納整理について」と題し講演した。

山森氏は「住宅係はカラスの卵撤去、公営住宅での薬品異臭騒ぎ、週末の安否確認での遺体搬送、そして債権整理・回収に至るまで様々な業務がある」と述べた上で、最近の取り組みとして、私債権・非強制徴収



赤平市建設課の山森拓住宅係長

民事裁判では他課の私債権担当者を法廷に招き原告席に座らせることでやる気を誘導、私債権整理が進展するにつれ他課にも味方が増えたことなどを発表。「自分が貸した金を返してもらおう気概でまずは行動。逃げない・引かない・驚かないの基本姿勢で取り組んでいる」と発表した。

シルバー活用で
スピートアップ！

東京都東久留米市納税課の後藤寿之主査は「金をかけずに金を取る。無駄を省いても手間惜しまず。納税事務の新しい形を模索、がコンセプト。税務職員一人が1300件を抱え、手がまわらない実態を踏まえ、

シルバー人材センターから時給800円で常時4名を派遣してもらい、現年の滞納者に対する電話催告業務を委託した」と解説。「税金は年間約7.7億円増。やる気のある職員がいらない、忙しいと愚痴っていないで人材不足を解消し、余裕を創出、スピードアップを図ろう」と呼びかけた。

納付環境整備と
滞納差押え強化！

埼玉県北本市総務課職員担当兼管財担当の新井信弘主事は「収納率低下を放置せず、ATMやクレジットカード、コンビニでも、つまり24時間いつでも納税ができる体制を整備した」と報告。

「勤め先東京でのコンビニ支払が多い、15時以降の納税が58%など住民の利便性は高まった。住民情報システムの入れ替えなどのタイミングを活かして取り組む選択肢はある」と述べた。

長崎県平戸市の税務課滞納対策室の立木尚徳滞納整理班主事は、積極的に取り組んでいる滞納の差し押さえ状況をビデオで解説。自家用車のタイヤロック実施で25万円一括納付事例など幸先良く成果が出て、現在15台が稼働していること、滞納者が経営する時計店では54点の在庫時計をネット公売成功、搜索で家屋内から40万円の現金が出てきたケース、執行停止目的で搜索した娘から19.1万円の一括納付があった事例などを報告した。

「差押えが年間244件から774件に



差押え現場を動画で発表

増えた。保育・給食担当も同行でタイヤロックなどをし全額納付させたケースもある。搜索は多数で、県警OBも貴重な戦力」と述べた。

事例発表のあとは滞納者への折衝方法を鍛えるためにグループ討議とロールプレイングも実施した。



日頃はネット上で情報交換しているメンバーが米沢市に集結



会場となった山形県米沢市「伝国の森（置賜文化ホール）」。
大河ドラマ「天地人」人気で賑わっていた。



同会代表の浦幌町町民課納税係の菅原伊奈子係長



来賓の安倍三十郎米沢市長は「税金がなければ行政は廻らない。異動で税務職員を離れた職員までも参加している。公務員の鏡だ」と述べた。



週末に全国から約70名が参加



滞納者への折衝力強化のため、グループ討議とロールプレイングを実施